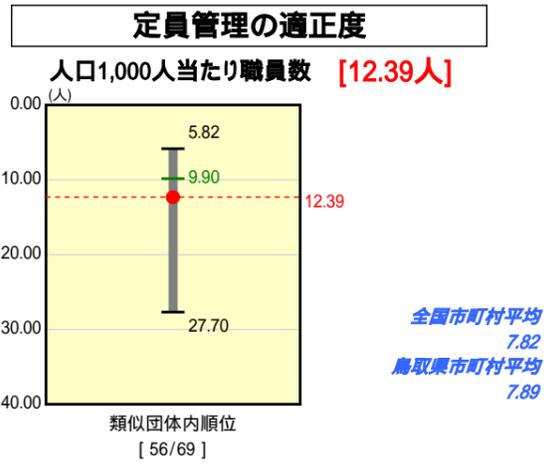
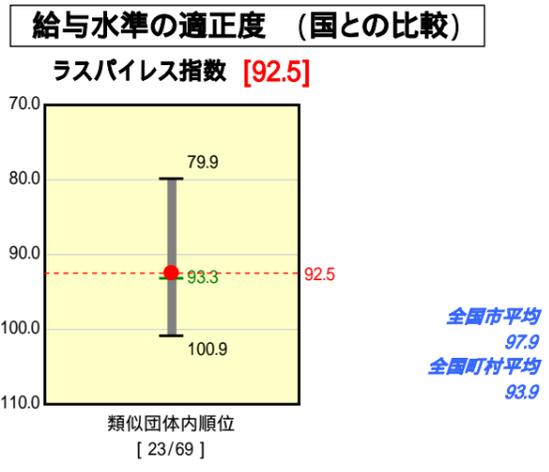
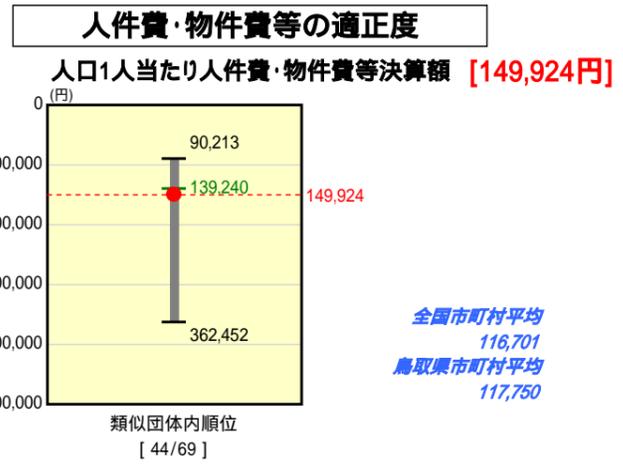
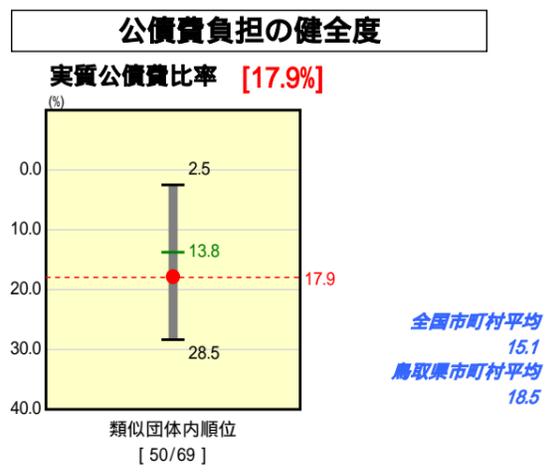
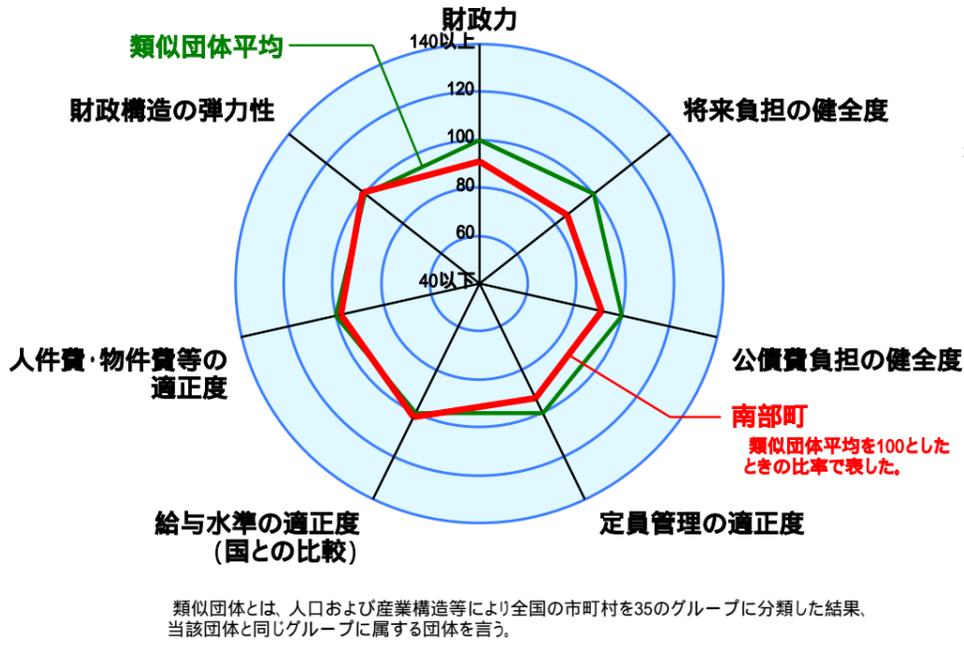
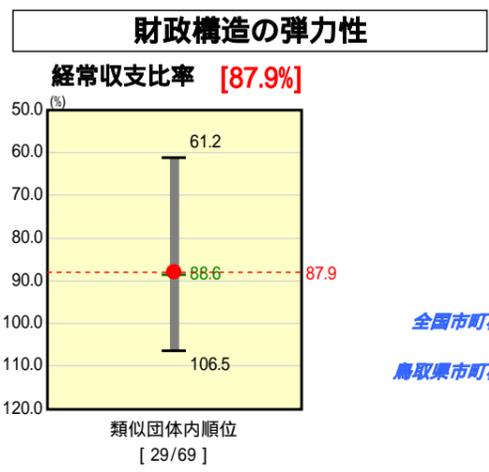
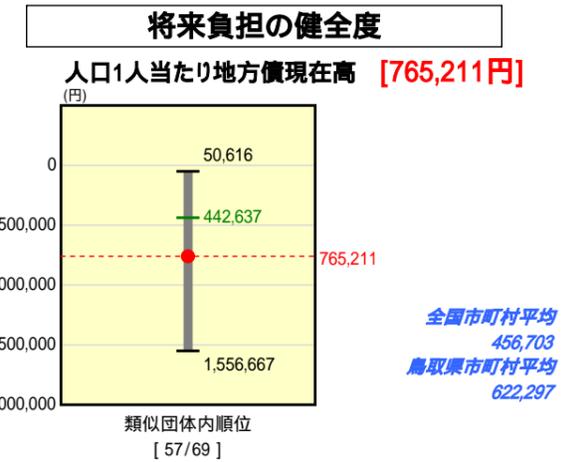
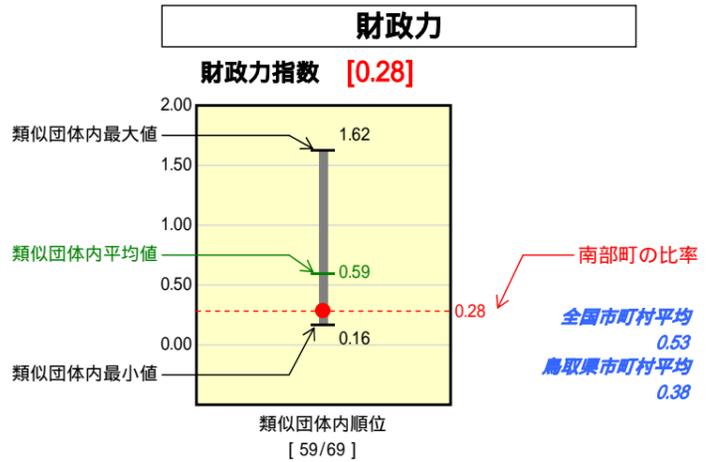


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

鳥取県 南部町

人口	12,190人	(H19.3.31現在)
面積	114.03	km ²
歳入総額	7,305,800	千円
歳出総額	7,157,693	千円
実質収支	108,792	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力】
財政力指数は、0.28で全国、鳥取県の市町村平均をかなり下まわっていますが、平成16年の合併後少しずつ向上しています。
歳入に占める税収が、県内でも低い状況で、合併後の職員数の削減による人件費の削減、歳出の見直しを実施し、平成18年度から徴収対策室を設置して税収の徴収率向上対策に努めています。

【財政向上の弾力性】
平成17年度の退職勧奨等で17名の職員の退職により大幅な人件費の削減を実施、さらに職員の給与カット(特別職10%、一般職平均5%)の継続実施する。また、事務事業の見直しで経常経費の削減を図った。

【人件費・物件費等の適正度】
類似平均より上回っているが、人件費の削減により昨年度から約3万円程度改善された。

【給与水準の適正度】
給与体系の見直し等により、類似団体よりラスパイレス指数は下回ったが、県内近隣の市町村と比較するとほぼ中位の指数となっている。

【将来負担の健全度】
人口1人当たり地方債現在高は、鳥取県市町村平均、類似団体平均、全国市町村平均より上回っている。主な要因は、西部地震県貸付金であるが、今後は投資的経費の抑制を図りながら県内市町村平均に近づけていくよう努める。

【公債費負担の健全度】
実質公債費比率は、類似団体平均を上回って17.9である。公債費負担は、西部地震県貸付金の償還が始まりピークを迎えているため、平成23年度まで18.0を越える状況が続くので繰り上げ償還を検討していく。

【定員管理の適正度】
類似団体平均を上回っているが、55歳以上の退職勧奨、新規採用職員の採用調整を行いながら、平成27年度までに115人まで削減する。